

# 全国学力・学習状況調査、佐賀県学習状況調査結果を受けた取り組みについて

## 【武雄市小学校】

### 1 児童の実態（学習状況調査結果の推移）

	国語			算数		
	5年時	6年時		5年時	6年時	
		A	B		A	B
H22 入学 現 5 年	71.4 (1.06)			60.4 (1.01)		
H21 入学 現 6 年	59.6 (1.01)	72.3 (0.98)	55.0 (1.01)	65.5 (0.98)	77.9 (1.00)	57.1 (1.00)
H26 正答率の全国平均		72.9	55.5		78.1	58.2

5年時は佐賀県学習状況調査、6年時は全国学習状況調査の推移。

上段は平均正答率、下段( )は県平均を1としての比較

### 2 改善に向けた具体的な取組

- ・小学校では、スマイル学習等、タブレットを有効活用し、予習型の家庭学習や学び合いによる学習を多く取り入れる。
- ・オープンデーを各小学校で年2回ずつ設定するなど、実践を見合う場を多く設け、授業力の向上を図る。
- ・タブレット配付にともない、ICT教育推進員を増員し、小学校は週あたり3日以上配置する。
- ・特別支援学級補助員、生活支援員の計画的な配置を平成25年度に引き続き継続して行う。

# 全国学力・学習状況調査、佐賀県学習状況調査結果を受けた取り組みについて

## 【武雄市中学校】

### 1 生徒の実態（学習状況調査結果の推移）

	国語				数学			
	1年時	2年時	3年時		1年時	2年時	3年時	
			A	B			A	B
H26 入学 現 1年	70.0 (1.00)				68.4 (0.97)			
H25 入学 現 2年	68.3 (1.00)	61.1 (1.01)			70.5 (0.97)	45.9 (0.97)		
H24 入学 現 3年	76.1 (0.98)	61.2 (0.99)	76.3 (0.98)	44.1 (0.90)	63.0 (0.94)	52.6 (0.98)	61.1 (0.95)	54.8 (0.97)
H26 正答率の全国平均			79.4	51.0			67.4	59.8

1・2年時は佐賀県学習状況調査、3年時は全国学習状況調査の推移。

上段は平均正答率、下段( )は県平均を1としての比較

### 2 改善に向けた具体的な取組

- ・小中連携を充実させ、小学校の実態を踏まえた授業展開ができるようにする。
- ・西部型授業（授業のめあてを示し、学び合いを多く取り入れ、授業のまとめをしっかりとやっていく）の定着を図る。
- ・家庭と連携した家庭学習の習慣化を図る。（家庭学習のしおりの作成等）
- ・生徒会が主体となった「自ずと通いたくなる」学校づくりを行う。
- ・訪問相談員を全中学校に配置し、不登校（傾向）生徒への支援を行う。

## ●平成26年度 学習状況調査質問紙より

### 【学校生活や生活習慣について】

- ◎「学校に行くのは楽しい」という項目は、小学5・6年と中学3年では県平均とほぼ同等、中学1・2年では、県平均を上回っており、ほとんどの児童・生徒が楽しいと答えている。  
※小学校、中学校ともに子どもを中心に考えた教育活動を行っている成果だと考える。
- ◎「朝食を毎日食べている」という項目では、ほとんどの児童生徒が朝食を食べてきており、小学5・6年と中学1年では県平均を上回っており、中学2・3年でもほぼ同等となっている。  
※武雄市では昨年度まで、文部科学省の委嘱を受け、栄養教諭を中核とした推進事業に取り組んできており、今後も引き続き食育の取組を積極的に行っていきたい。

### 【家庭学習の取り組みについて】

- ◎宿題の提出については、ほとんどの児童・生徒が定着していると考えられる。
- ▲「学校の予習をしている、どちらかといえばしている」という項目では、小学5・6年、中学1・3年では「している」「どちらかといえば、している」が県平均を下回っている。予習型の宿題を出すなど、家庭学習で予習をして授業に臨む習慣を付けていく必要がある。
- ▲中学校では、「学校の授業の復習をしている」「自分で計画を立てて勉強をしている」は県平均を大きく下回っており、復習を含め、自主的に学習する習慣化を図っていくことが課題である。今後は、自主的・計画的に家庭学習ができるように、予習・復習が連続した授業づくりを意識して取り組んでいきたい。

## 【家庭や地域との連携について】

◎「今住んでいる地域の行事に参加している。」という項目では、どの学年も県の平均値を大きく上回っている。

※地域ぐるみで、子ども達の教育に携わっていただいております、地域と家庭のつながりの強さが伺われる。今後も、コミュニティ・スクールの取組や、ゲストティーチャーとしての地域の方の活用など連携を図っていきたい。

## 【学校の授業について】

◎「授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う」という項目（小学6年・中学3年のみの質問）では、県平均を大きく上回っている。

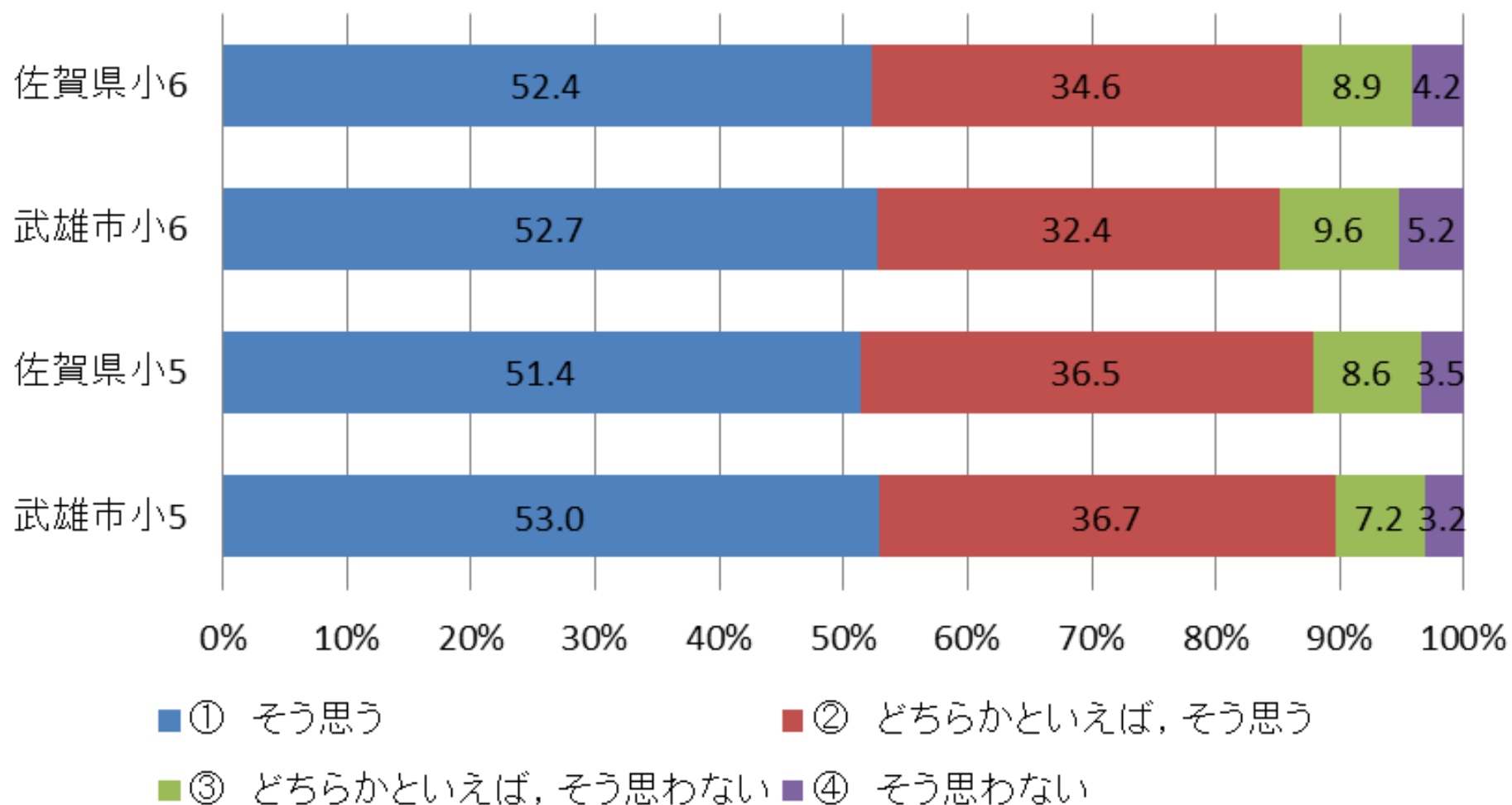
▲「ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う」という項目では、小学6年は県平均と同等、小学5年では県平均を下回っている。スマイル学習などを通して、協働的な学習を増やしていく必要がある。

## 【その他】

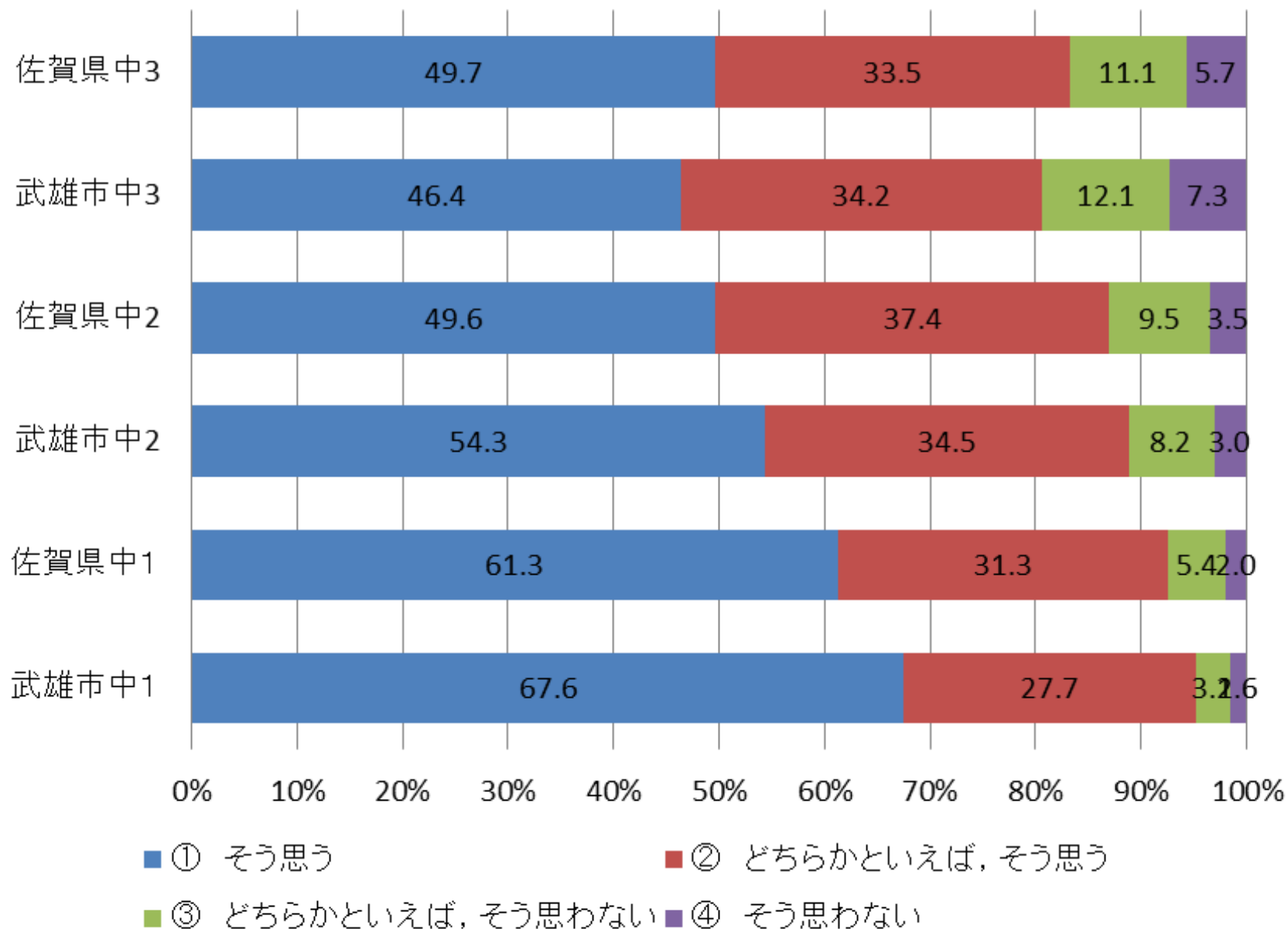
◎「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか」という項目では、週に1～4回行く人数が県平均を大きく上回っている。武雄市の子どもたちは、図書館の利用がよくできていると言える。これは、武雄市お薦めの本リストを紹介したり、武雄市図書館がリニューアルしたりしたことで、図書館への興味関心が高くなり、本を借りる子どもが増えたことが考えられる。

◎中学校では、「将来の夢や目標を持っている」という項目では、中学2年・3年で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」が県平均を大きく上回っている。各学校におけるキャリア教育の成果の一つであろう。今後もキャリア教育の推進をより一層進め、取り組んでいきたい。

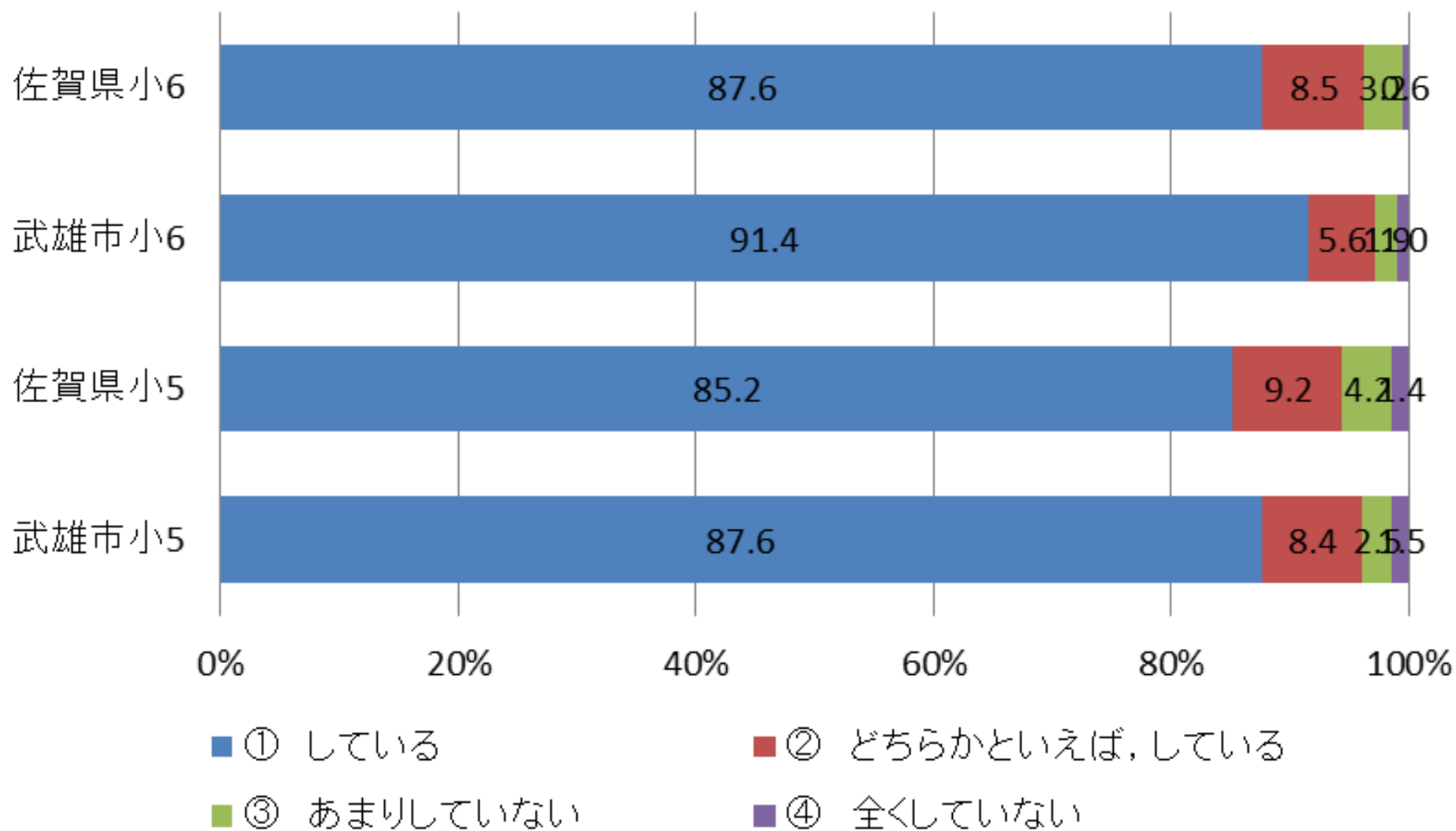
## 【学校に行くのは楽しい】



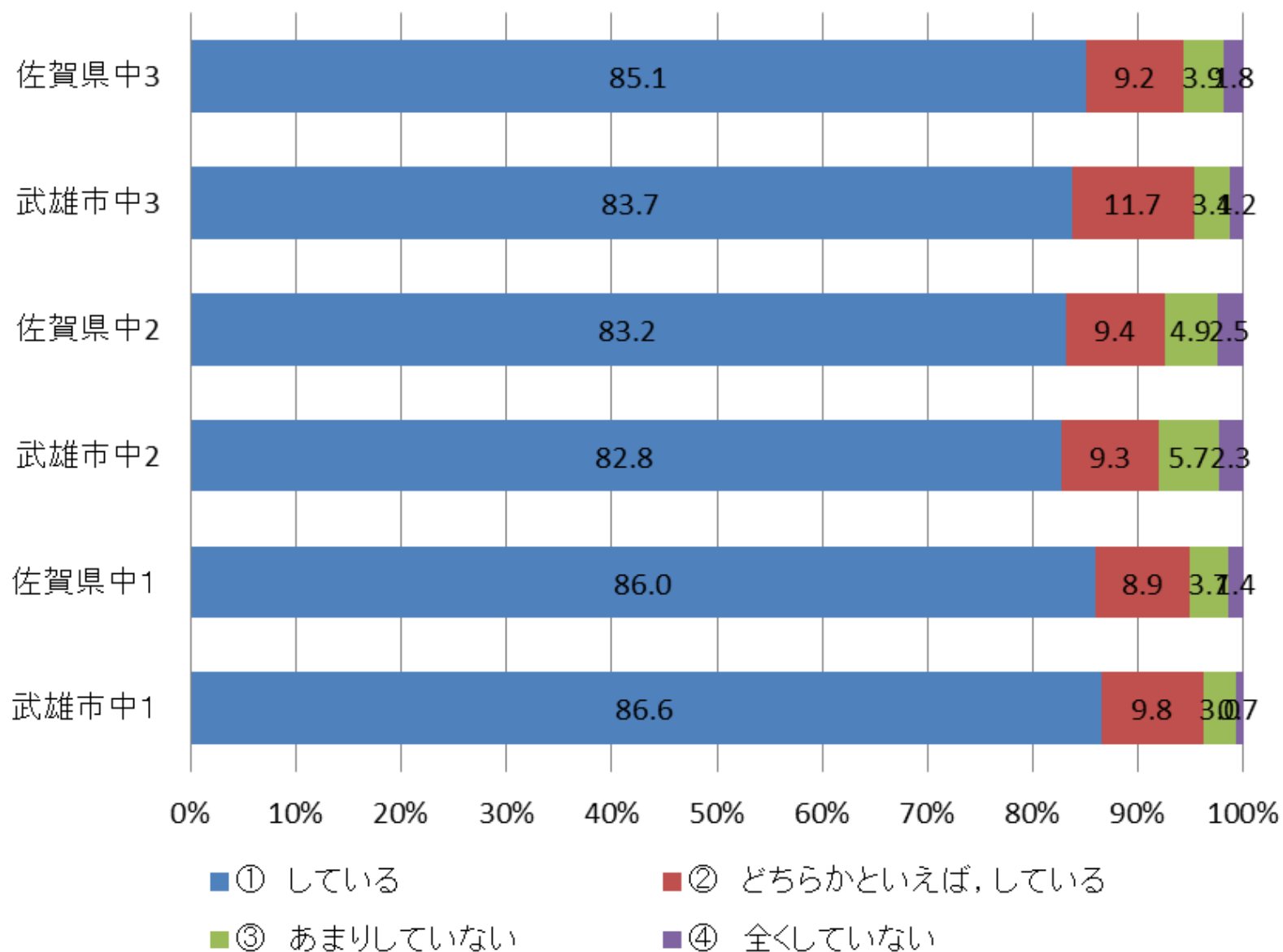
# 【学校に行くのは楽しい】



## 【朝食を毎日食べている】

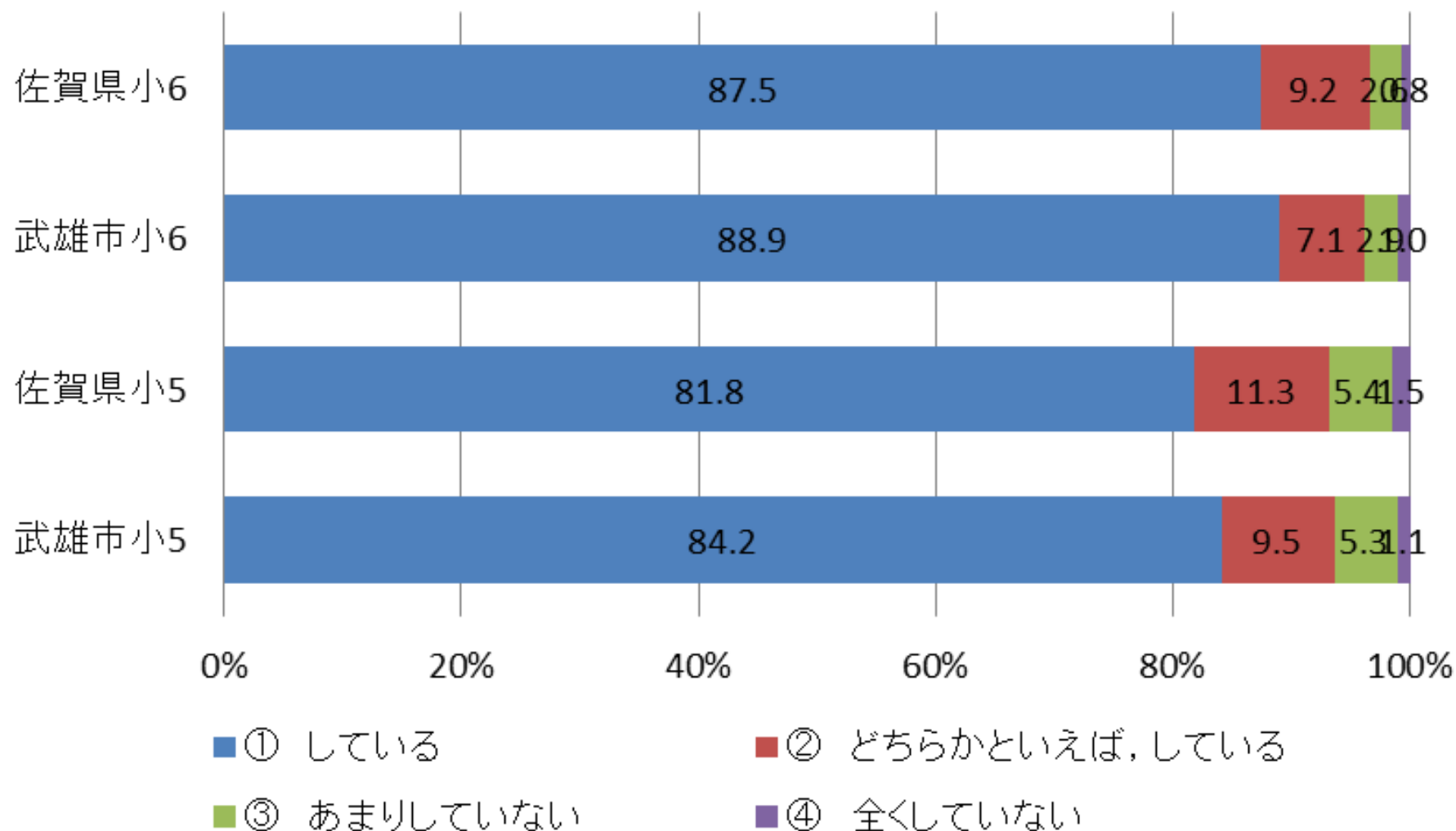


## 【朝食を毎朝食べている】

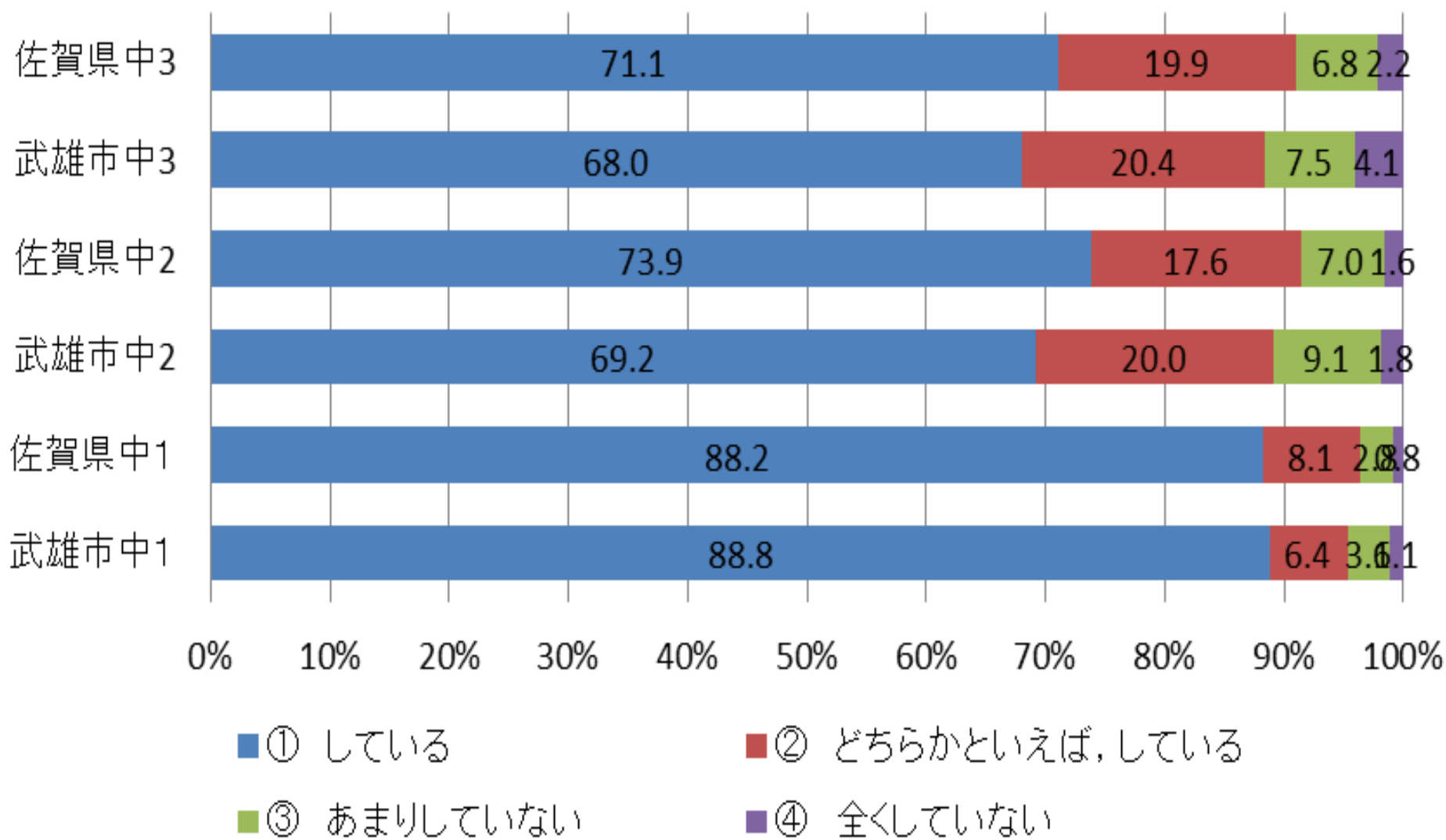




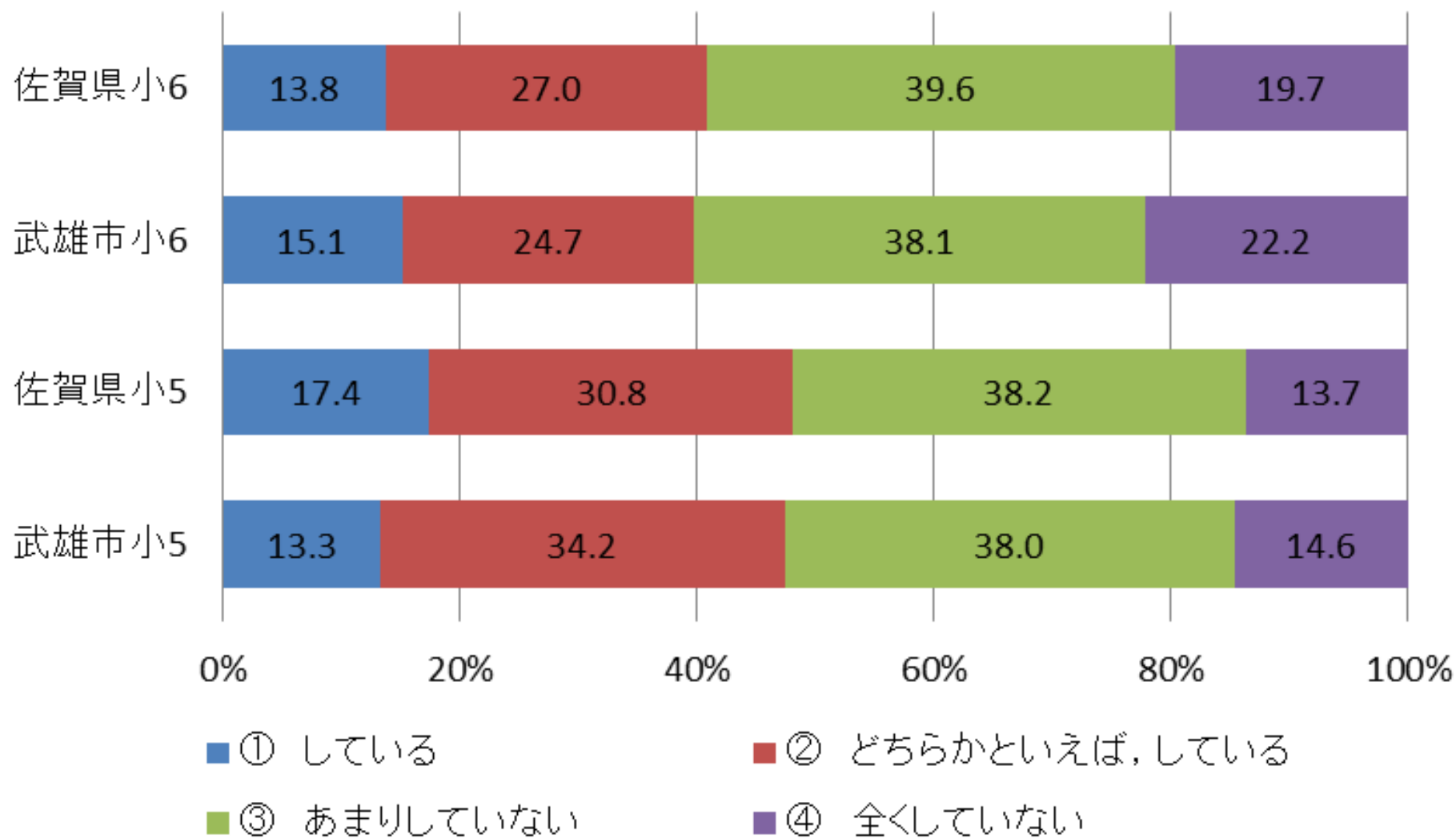
## 【学校の宿題をしていますか】



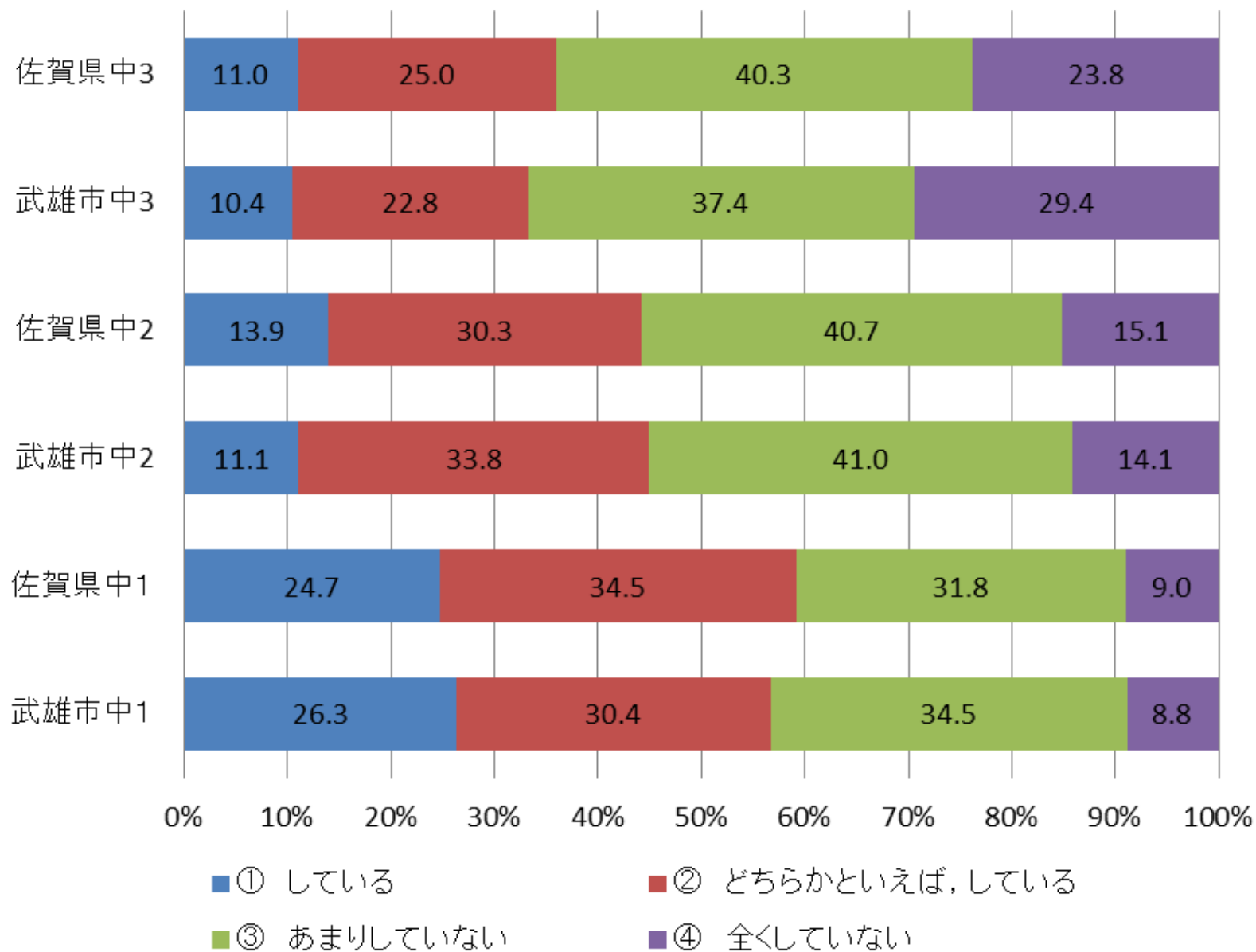
# 【学校の宿題をしている】



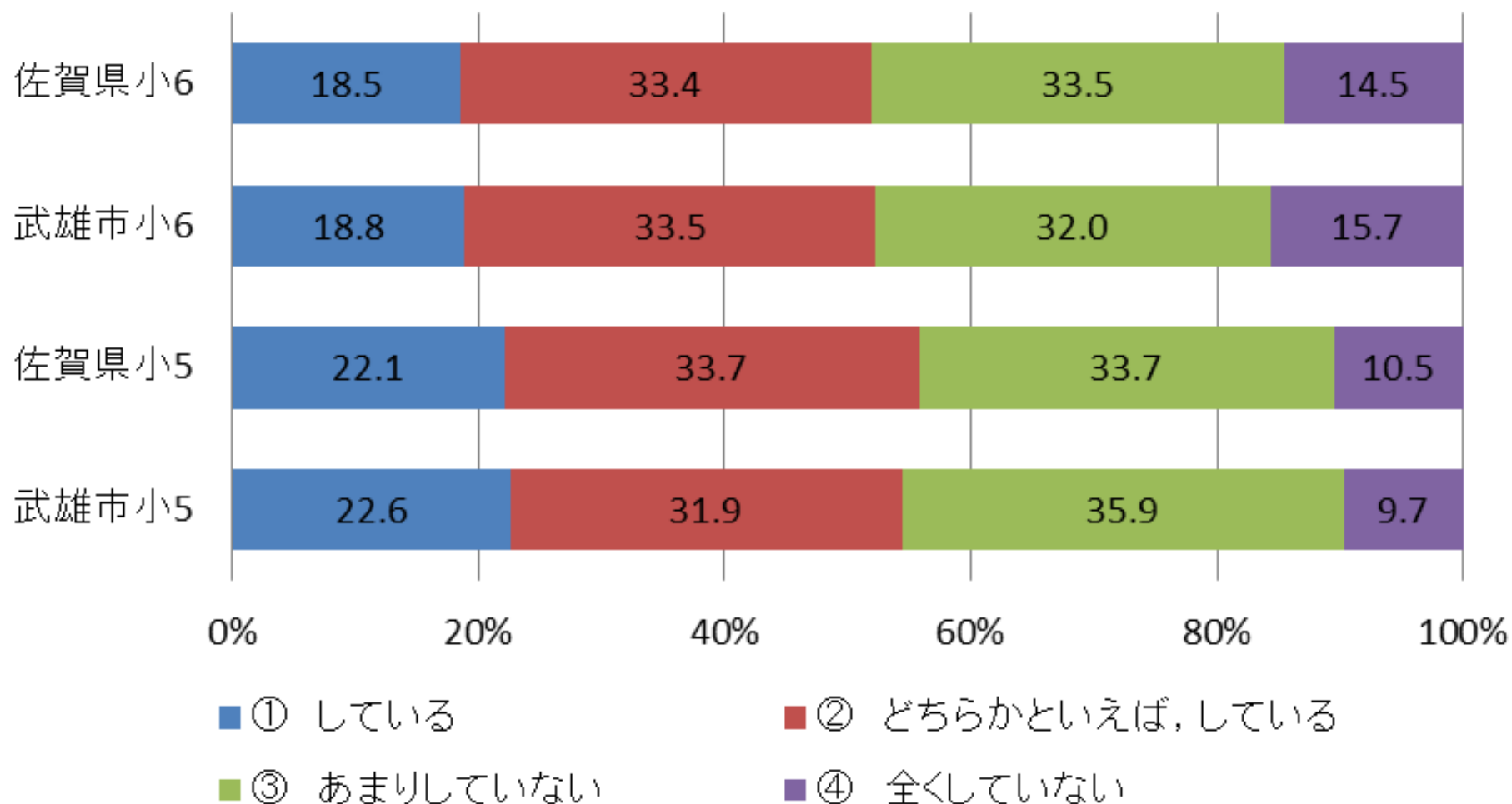
## 【学校の授業の予習をしている】



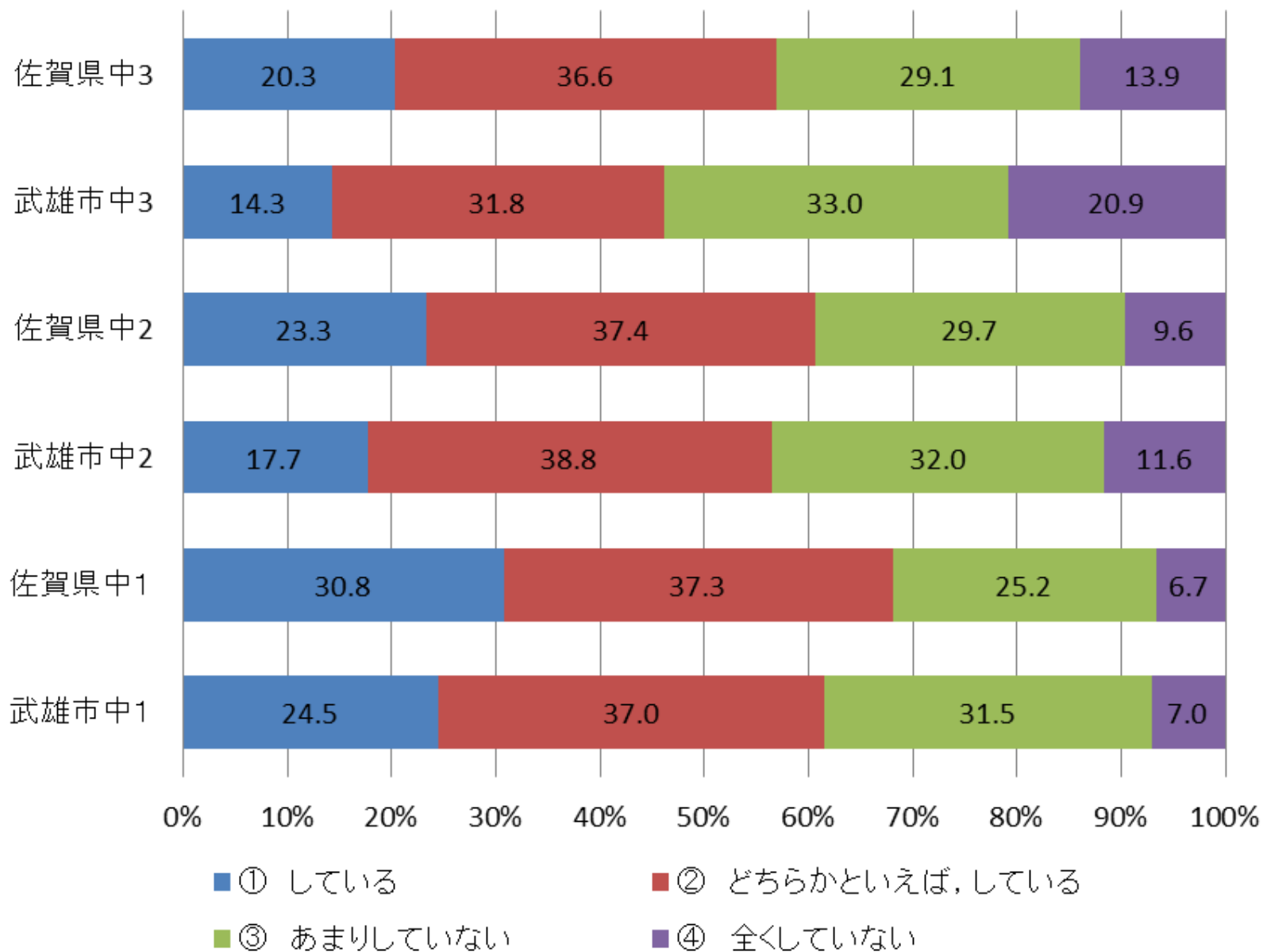
## 【学校の授業の予習をしている】



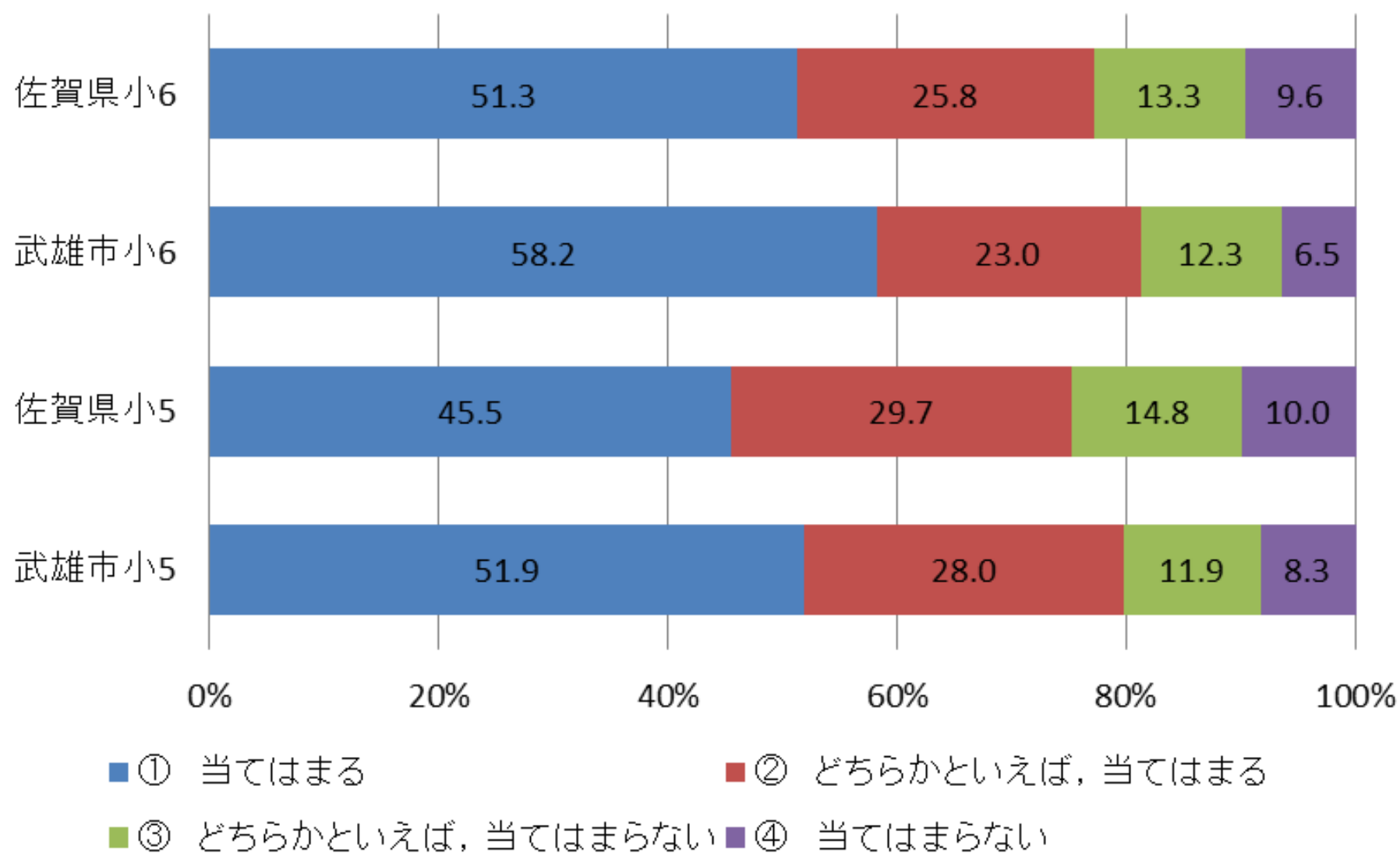
## 【学校の授業の復習をしている】



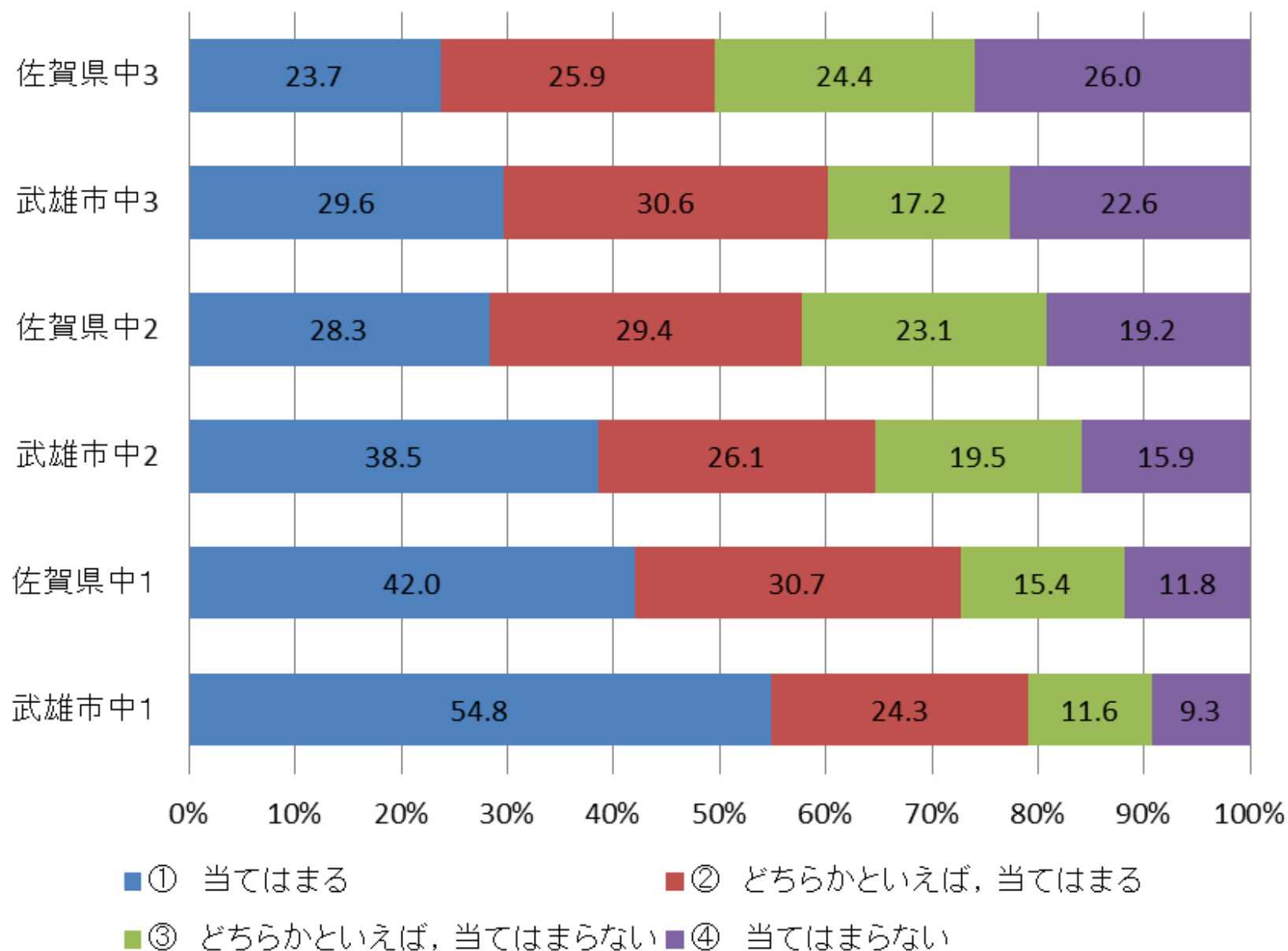
## 【学校の授業の復習をしている】



## 【今住んでいる地域の行事に参加している】

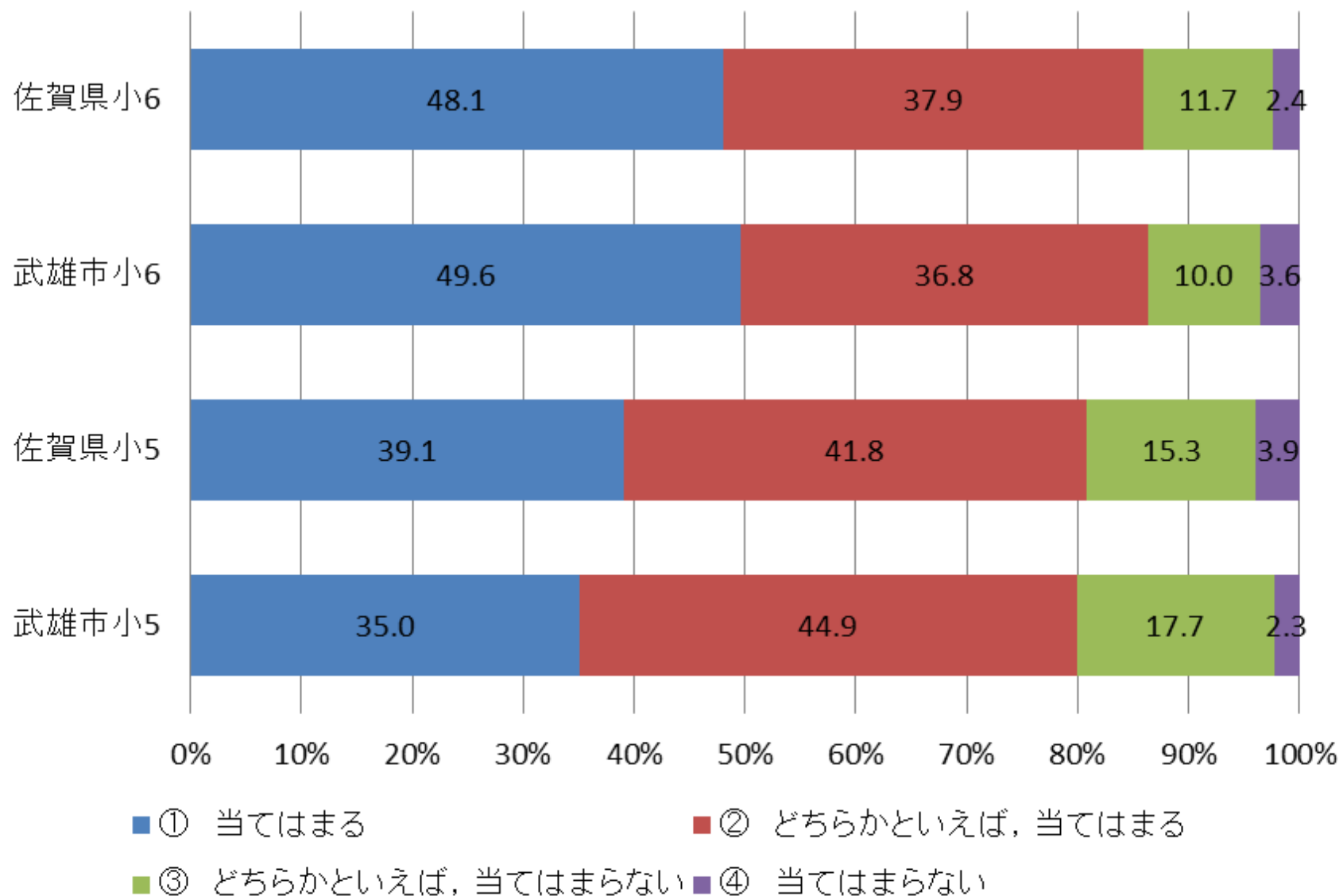


## 【今住んでいる地域の行事に参加している】

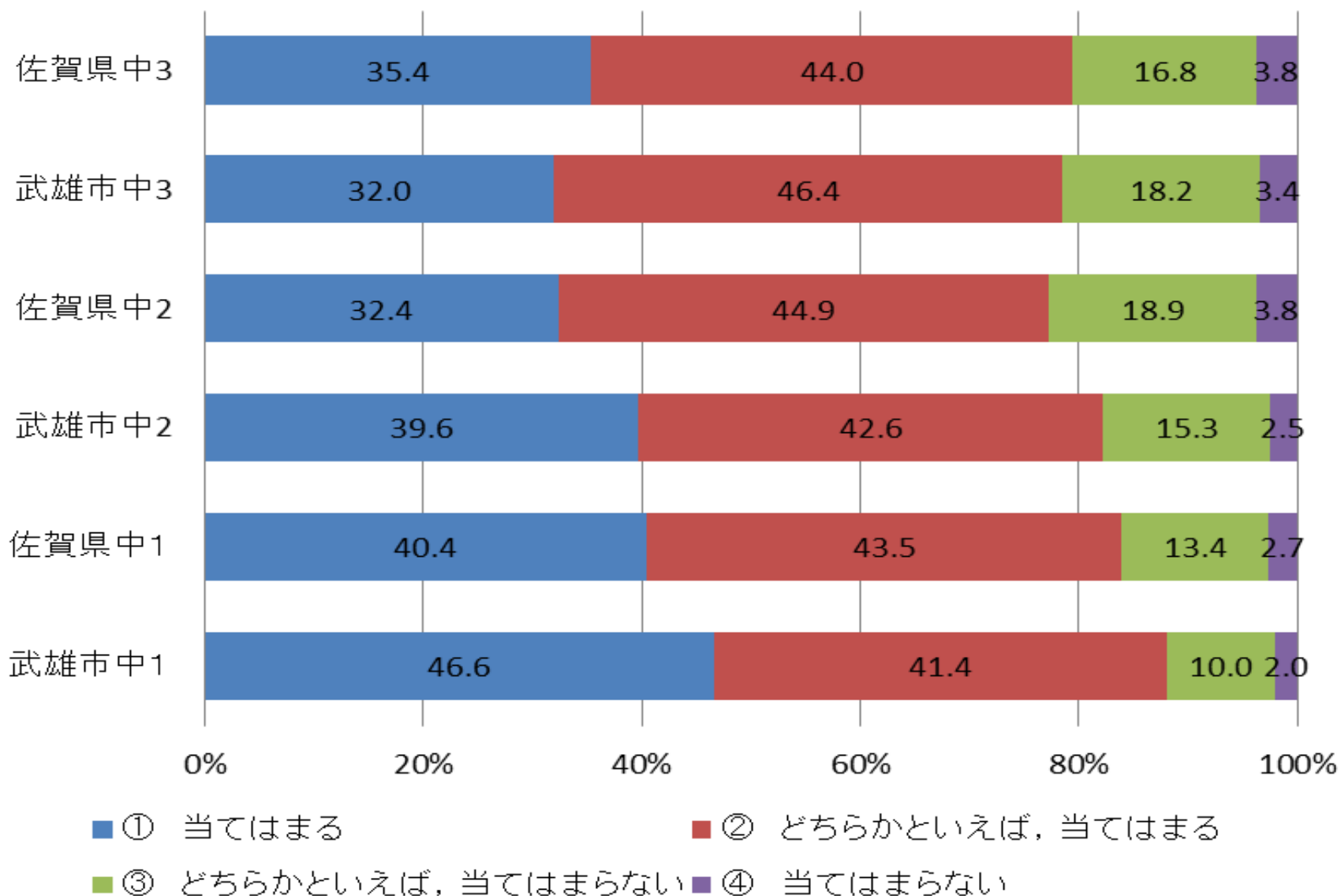




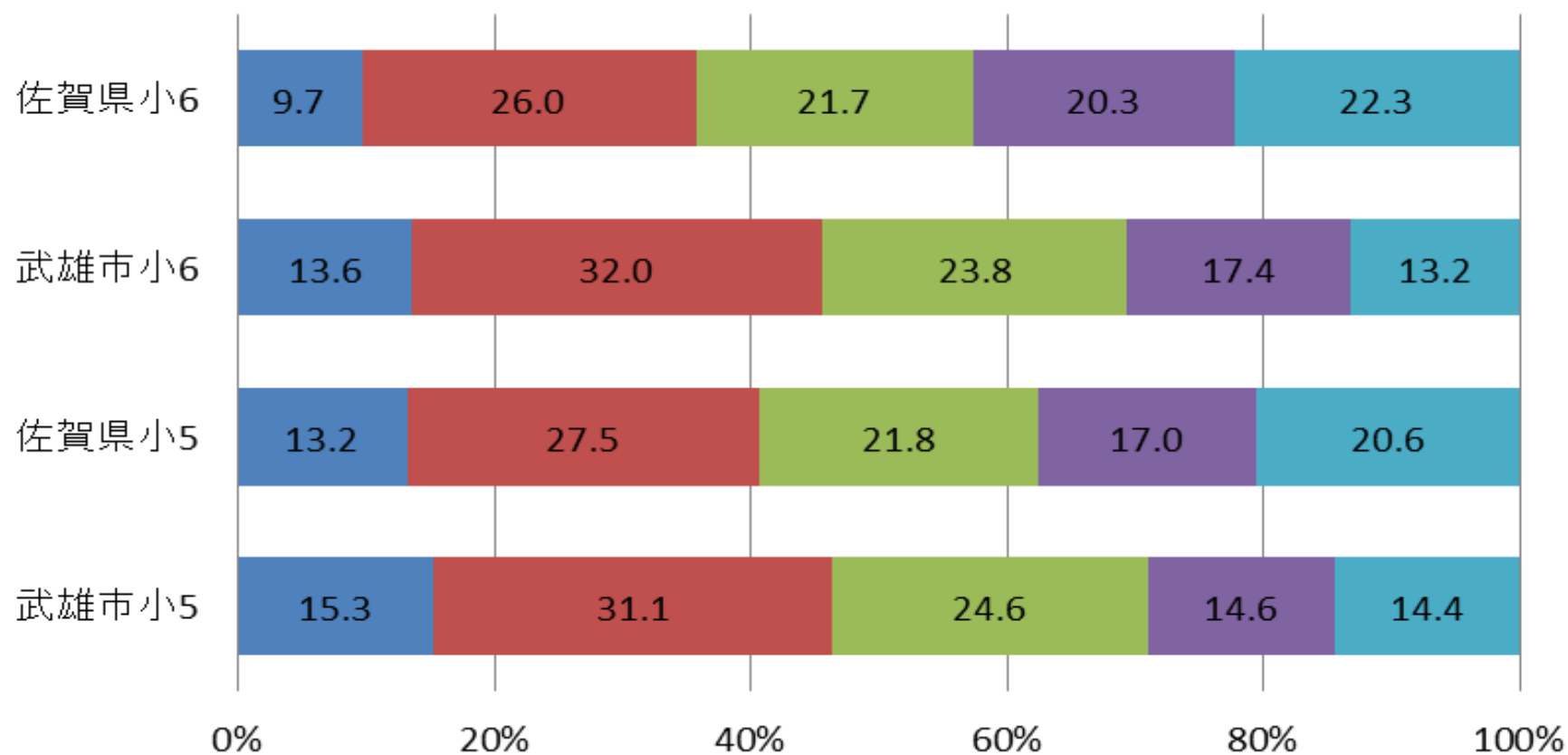
【ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う】



# 【授業では、生徒の間に話し合う活動をよく行っていたと思う】



【昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館へどれぐらい行きますか】



① だいたい週に4回以上行く

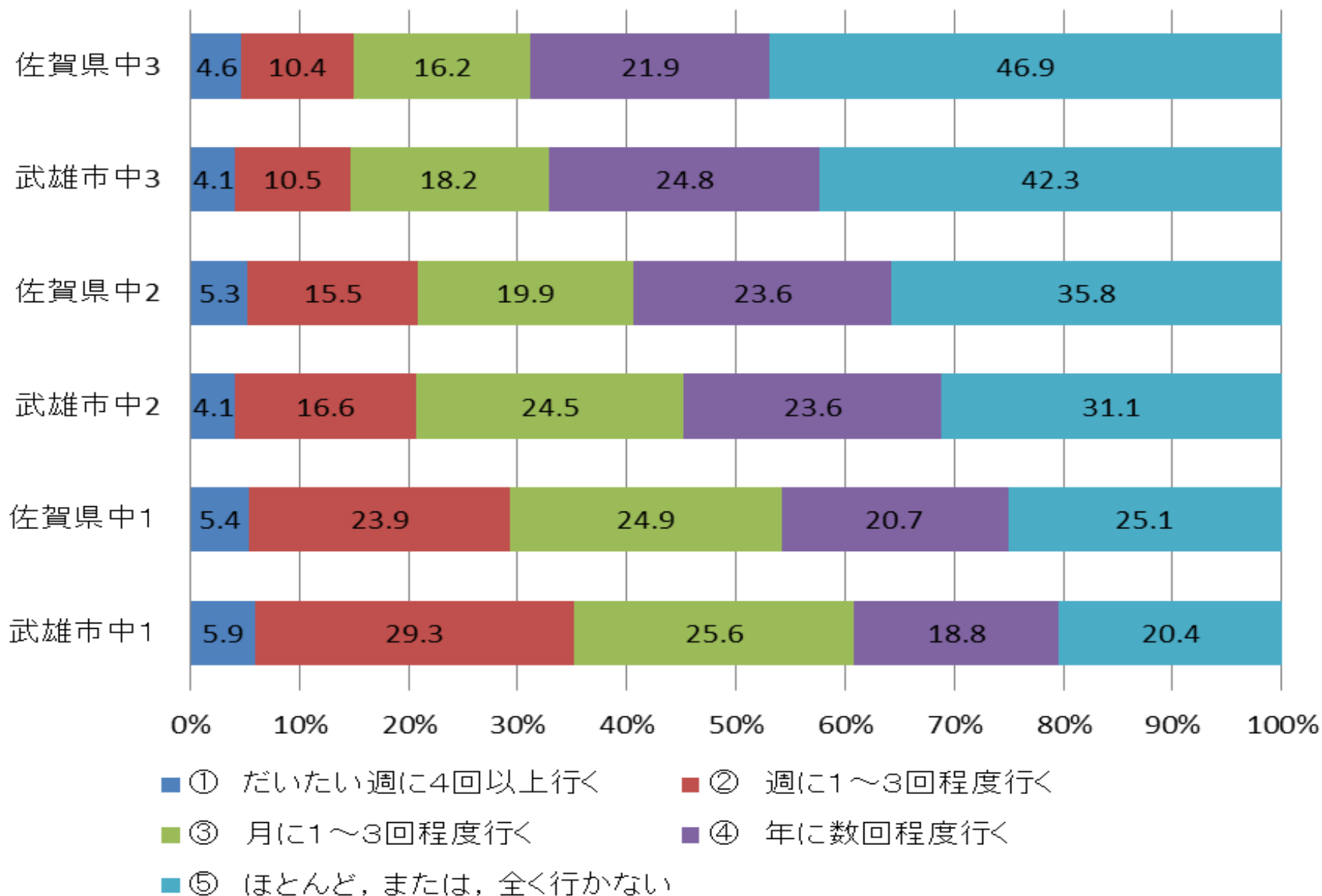
② 週に1～3回程度行く

③ 月に1～3回程度行く

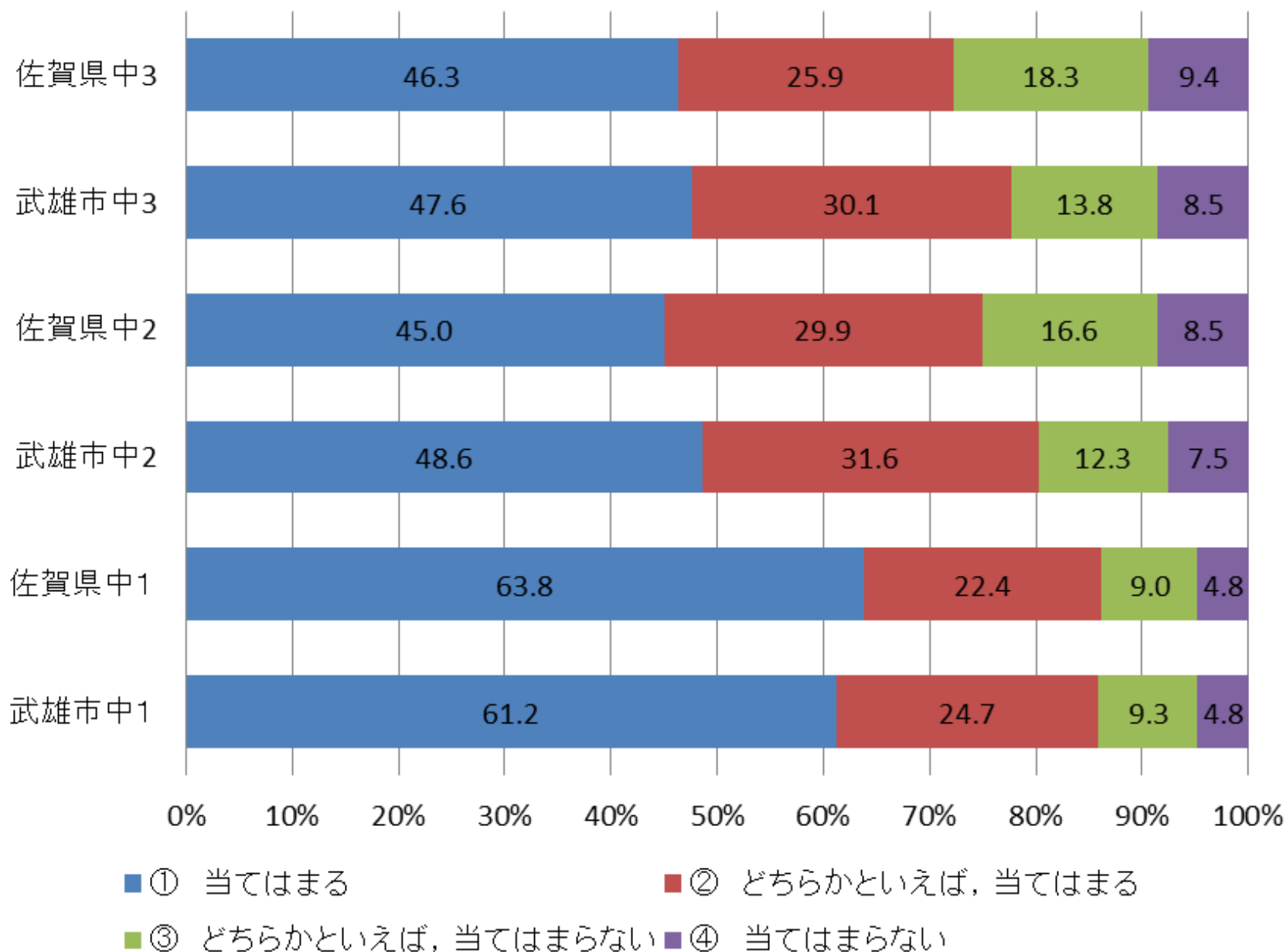
④ 年に数回程度行く

⑤ ほとんど、または、全く行かない

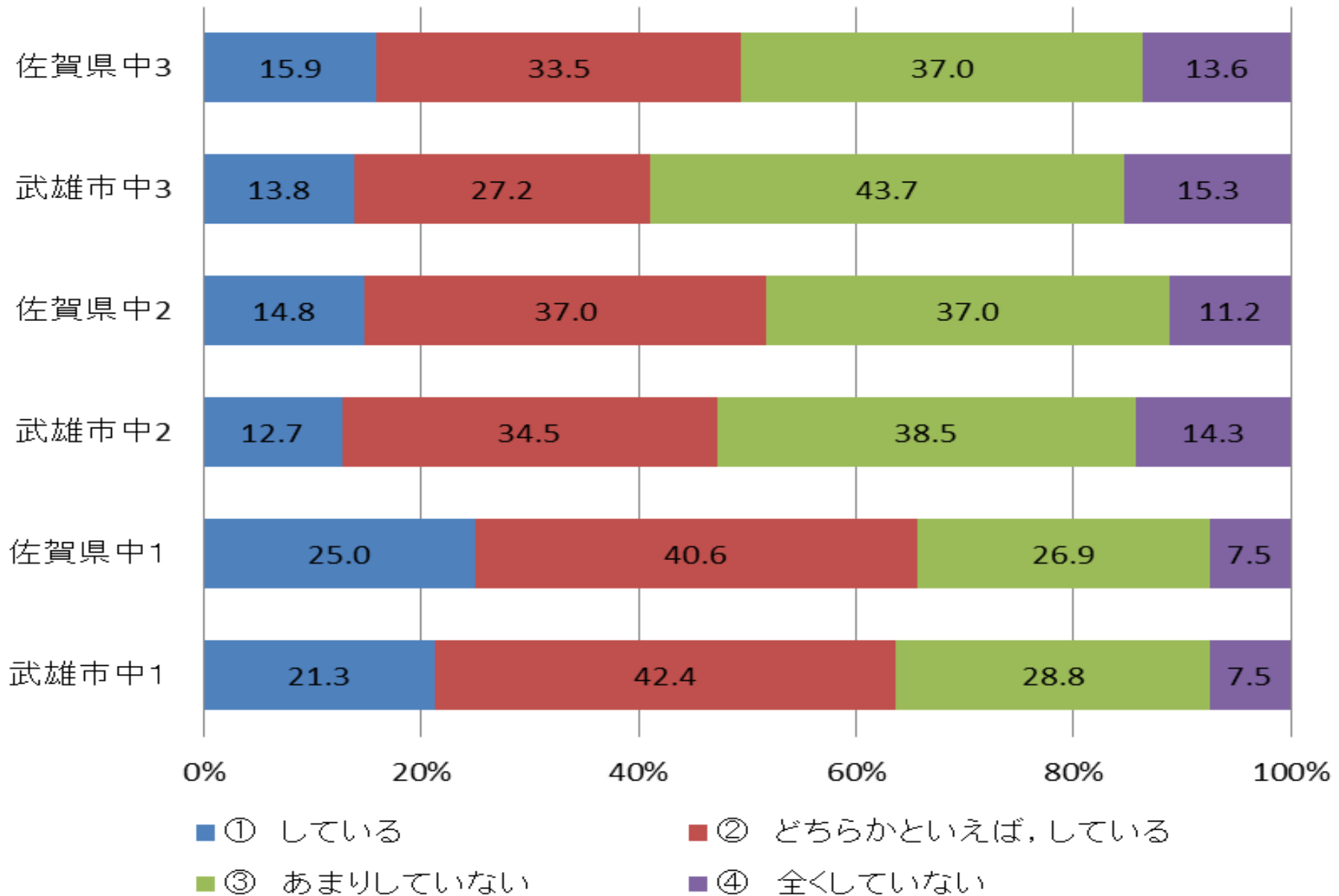
【昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか】



# 【将来の夢や目標を持っている】



# 【自分で計画を立てて勉強をしている】



# 【学校の授業以外に、普段(月～金)1日当たり どれくらいの時間勉強をしますか】

